



ミュージック・シェアリング「たより」

ともともフェスタ2025～迎賓館からはじまる「共生社会」～



今年、5月30日(金)と31日(土)、内閣府主催第1回“ともともフェスタ2025～迎賓館からはじまる「共生社会」～”が開催されました。迎賓館赤坂離宮は、「国宝」ですって!(AI 説:日本の文化財保護法に基づき、有形文化財のうち特に価値が高いものとして国が指定したものです。国宝に指定された文化財は、日本国民にとってかけがえのない「たぐい

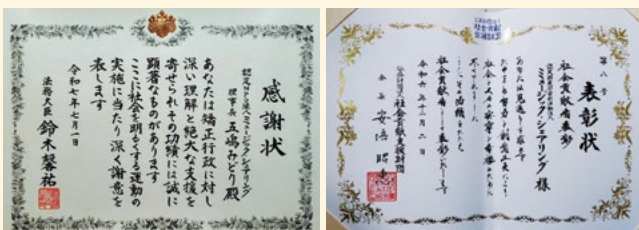
ない国民の宝」とみなされます。)土曜日、吹き降りの悪天候が一瞬の晴れ間に変わったのが、このフェスタのトリ(プログラム最終出場者)の、われらの楽器指導支援プログラムに属する生徒とOGOB、そして五嶋みどり、と作詞家兼歌手の麻衣が、まさにステージ上に上がる寸前でした! 5曲を演奏し、会場の観客を巻き込んだ合唱はトリにふさわしい素晴らしいステージでした。

ステージ前の広場には、社会貢献に携わる団体の広報用ブースがいくつも並び、盲導犬も小雨の中でデモンストレーションをしていました。

ともともフェスタ2025
https://tomotomofesta2025.jp/



表彰状



今年度も企業やみなさんからご寄付をいただき、これらの浄財が活動費となっています。その上この2枚の表彰状! やっぱ、とっても嬉しいですね。訪問先の施設や学校の皆さんからのお手紙のように、大切に保管しておきますネ。

寄贈楽器に託す夢



子どもたちが小さい頃に使っていた思い出のバイオリン、若かったころの思い出がいっぱい詰まったバイオリン。そんな貴重な楽器のご寄付をありがとうございます。楽器による社会活動の威力ってすごい!

ミュージック・シェアリングのHPや各SNSからも詳細をご覧ください。

認定 NPO 法人ミュージック・シェアリング

〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目5-18 半蔵門ハウス601

☎ 03-6256-9733 📠 03-6256-9734 🌐 <http://www.musicsharing.jp/>

✉ info@musicsharing.jp ✉ @npomusicsharing 📺 @npomusicsharing

担当者:野本、佐久間 ※このミュージック・シェアリング便りからの無断掲載はお断りいたします。

助成: 一般財団法人日本児童教育振興財団

協賛: 京阪ホールディングス



ミュージック・シェアリング「たより」

訪問プログラム2025 [秋]

Music sharing





みなさん、こんにちは。

日本には、春、夏、秋、冬、と呼ばれる四つの季節があり、それぞれ約3か月くらいでそれなりの趣をもって巡り続けるはずなのですが、最近では“暑い”の代名詞の“夏”が長く居座り、そのせいで涼しいはずの“秋”が短くなり、またたく間に冬に突入。と、気温と呼び名が益々一致しなくなってきたように思います。それに今年の夏は猛暑が続き、40℃を超える地方もあり、待ちに待った夏休みは海水浴!と楽しみにしていたら津波警報。と、とんだ夏でしたね。さあ、ようやく「勉学の秋」、「スポーツの秋」、「訪問コンサートの秋」の訪れです。ミュージック・シェアリングの協力アーティストがクリスマスに先立って、音楽のプレゼントをお届けにまいります。お楽しみに。

2025年10月 認定NPO法人ミュージック・シェアリング 理事長 五嶋みどり

ギター

楽器紹介

音楽が生まれたのはいつで、どこからきたのでしょうか？みなさんは考えたことがありますか？例えば今から2000年以上前のギリシャでは、すでに弦楽器と管楽器という2つの種類の楽器が演奏されていたそうです。その時に登場した弦楽器が、現在のギターの始まりだとされています。ギターは弦楽器の中でも、指、またはピックで弾くことによって演奏する“撥弦楽器”の仲間です。クラシック音楽、フラメンコのほか、ジャズ、ロック、ポピュラー音楽（フォークソングなど）幅広いジャンルで用いられます。クラシックギター、フラメンコギター、フォークギター、エレキギターなど、演奏する音楽に合ったギターの種類があり、弦の数も、基本的な6本の他に、4本、10本、12本、18本など種類があります。今回みなさんに聴いていただくのは、6本の弦がある「クラシックギター」です。



豆知識～ギターと作曲家

ギターと聞いて、みなさんはどんな音楽をイメージしますか？きっとふだん耳にするポップスやフラメンコの印象が強いでしょう。ギターは意外にも、クラシックの作曲家や演奏家たちからも愛された楽器でした。

まず、かの有名な“運命”の作曲者ベートーヴェン（1770-1827）は、「ギターは小さなオーケストラである。」と評価していました。たくさんのピアノ曲を作ったショパン（1810-1849）は「優れたギターの演奏ほど美しいものは他に考えられない。」と言い、“火の鳥”の作曲者ストラヴィンスキー（1882-1971）は、「ギターは音が小さいのではなく、遠くで鳴っているのである。」と、その素晴らしさを語っています。また、バイオリンの名手であるパガニーニ（1782-1840）は、ギターの演奏方法をバイオリンの演奏に活かしたとも言われています。パガニーニは、旅行の時もギターを持ち歩くほどのギター好きで、ギタリストでもありました。



村治奏一

お父さんの手ほどきでクラシックギターを始め、その後、福田進一氏、鈴木大介氏のもとで勉強をしました。1996年、14歳の時に学生ギター・コンクールで優勝。

1997年には、クラシック・ギター・コンクール、1998年には別の2つのコンクールで続けて優勝しました。1999年よりボストン近郊にある総合芸術高校ウォールナット・ヒル・スクールに留学し、2003年に首席で卒業。同時期に発表したデビューアルバム「シャコンヌ」は、レコード芸術誌の特選盤に選ばれました。以降、様々なコンサートツアーにソリスト（独奏者）として抜擢され、公演を成功させています。

これまでに10枚以上のCDアルバムを発売しているほか、最近では、大きなコンサートホールでの演奏会から、カフェやギャラリーといったお客様との距離が近い空間でのライブ、またインターネットでの配信など、いろいろな場面で活躍しています。

最近では、文章が作れるAI「ChatGPT」（チャット・ジーピーティー）を活用し、自身の音楽やギターの知識を学習させた、分身のようなAI「A.I.村治奏一」を開発。公式サイトで公開しました。最新のテクノロジーを使い、ファンのみなさんとの新しい交流の場を創出しています。

演奏予定曲

「A列車で行こう」 〈作曲〉ビリー・ストレイホーン 〈編曲〉ローラン・ディアンズ
映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「私のお気に入り」 〈作曲〉リチャード・ロジャース 〈編曲〉閑喜弘介

博士のつぶやき

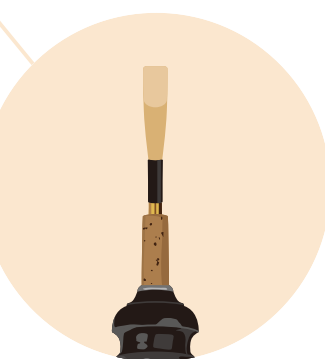
村治さんは協力アーティストとして2010年からMSのこのプログラムで華麗なるギターの演奏とお話をして下さっています。ギターは楽器を両手で抱きかかえるようにして演奏するんですね。まさしく、村治さんの思いを大切にみなさんに届けておられる、そう思いませんか。一昨年、沖縄で次の日の活動を前に海辺の民宿に宿泊された夜、キッチンのおばさんや宿のおじさんとお茶を飲んでいたら、村治さんが、おもむろに“アルハンブラの思い出”を奏でてくださって、「夢のようで、忘れられないプレゼントをいただきました。」と感激のお手紙が民宿から寄せられました。



オーボエ

楽器紹介

オーボエの名前は、「高い音を出す木管楽器」という意味のフランス語“haut bois”が由来です。現在のオーボエの型は室内楽用に改良されたもので、17世紀頃、それまで弦楽器だけだったオーケストラにバロックオーボエとしてデビューしたとされています。その後、バロックオーボエからフランス式、ドイツ式、ウィーン式などへと進化し、現在ではコンサートが始まる前にオーケストラの音合わせで基準になる楽器となっています。



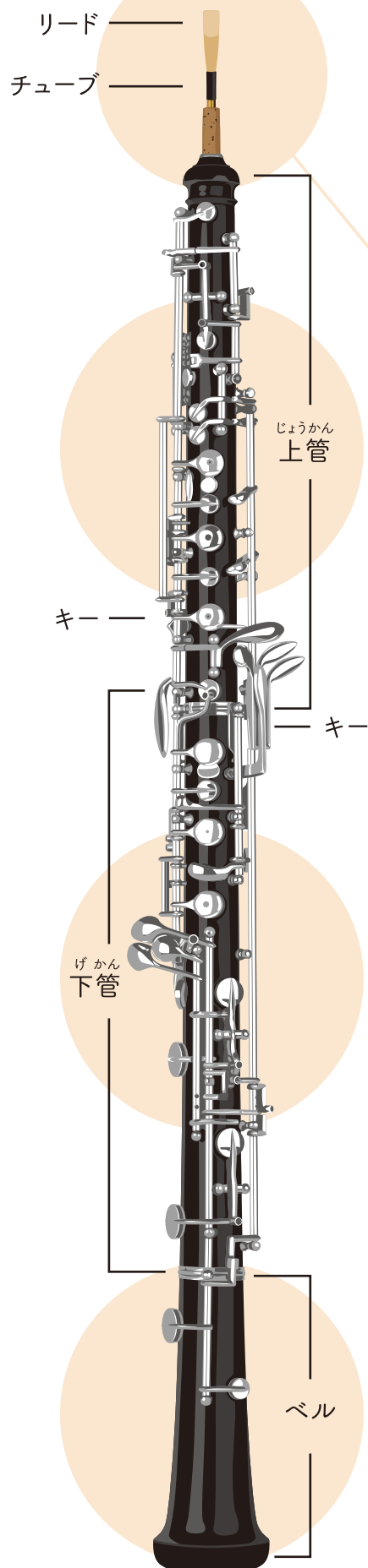
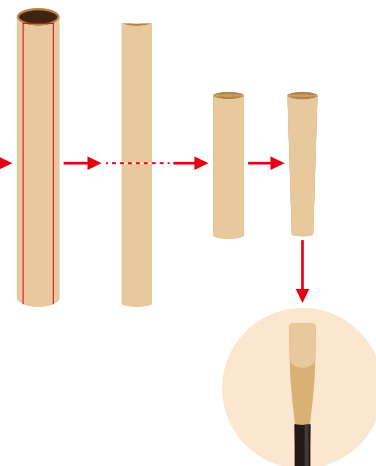
豆知識～リードって何？

楽器の、音を生み出す部分を「発音体」といいます。木管楽器の発音体のことを「リード」と呼び、オーボエのリードは、「葦」という植物を薄く削って作られます。

リードは消耗品（数回使ったら使えなくなってしまうもの）なので、演奏者自らが製作します。リードの作り方が演奏に大きく影響するので、リードを作る技術が大切になるのです。



葦
あし



豆知識～オーボエと昔話

みなさんは楽器が登場する昔話をいくつか知っていますか？
ブレーメンの音楽隊、ジャックと豆の木、ハーメルンの笛吹き男…。
これらのお話は世界中で知られる昔話ですが、もっともっと古いお話があります。それは、2700年以上前から伝わり、神様が登場する『ギリシア神話』です。その中に、なんとオーボエが出てくる部分があるので。

昔、アテナという知恵・戦略・芸術の女神様がいました。
アテナはオーボエの基となる楽器を発明しましたが演奏が難しく、「拾った人を不幸にする呪い」をかけて捨ててしまいます。さて、マルシュアスという半獣（体の半分が人で、もう半分が動物）がそのオーボエを拾い、練習して上手になりました。調子にのったマルシュアスは、芸術の神様アポロに楽器での競争を挑みますが、負けてしまい、罰を受けることになるのです。



荒絵理子

小さなころは引っ込み思案で、いつも人の陰に隠れているような子どもでしたが、興味のあることや大好きなものには没頭してしまうところもありました。オーボエとの出会いは中学生の時。フルートか打楽器を演奏したくて吹奏楽部に入りましたが、どちらもすでに希望者でいっぱい、代わりに勧められたオーボエを始めてみることにしました。しかし、それまで色々な楽器をやらせてくれたお父さんに大反対され、逆に悔しくなり、絶対にオーボエをやる、と決心しました。その後もオーボエを続けて東京音楽大学に進学し、日本管打楽器コンクールで入賞、日本音楽コンクールでは1位になりました。出光音楽賞というとても名誉ある賞も受賞し、ドイツに留学。現在は東京交響楽団で首席オーボエ奏者として活躍している他、全国各地でソロ、室内楽などの演奏活動も積極的にやっています。



遠藤直子

小学生の時、ピアノを習っているお友達が教室でキーボードを弾いているのを聴いて、楽しそう!と思って家で真似して弾いて遊んでいました。それがきっかけで10才からピアノを習い始めました。その時は水泳部に入っていたので、1人だけ真っ黒に日焼けしてピアノの発表会に出たりしていました。1人で演奏するのも好きだけれど、誰かと一緒に演奏する方がもっと好きです。コンサートをしたり、テレビやラジオに出たり、CDを作ったりしています。世界中色々な国の人と演奏することが多いですが、言葉はしゃべれなくても一緒に演奏すると気持ちが伝わります。音楽は世界に共通するとても素敵な言葉だと思っています。今日も私はどこかで誰かと音楽でおしゃべりを楽しんでいます。

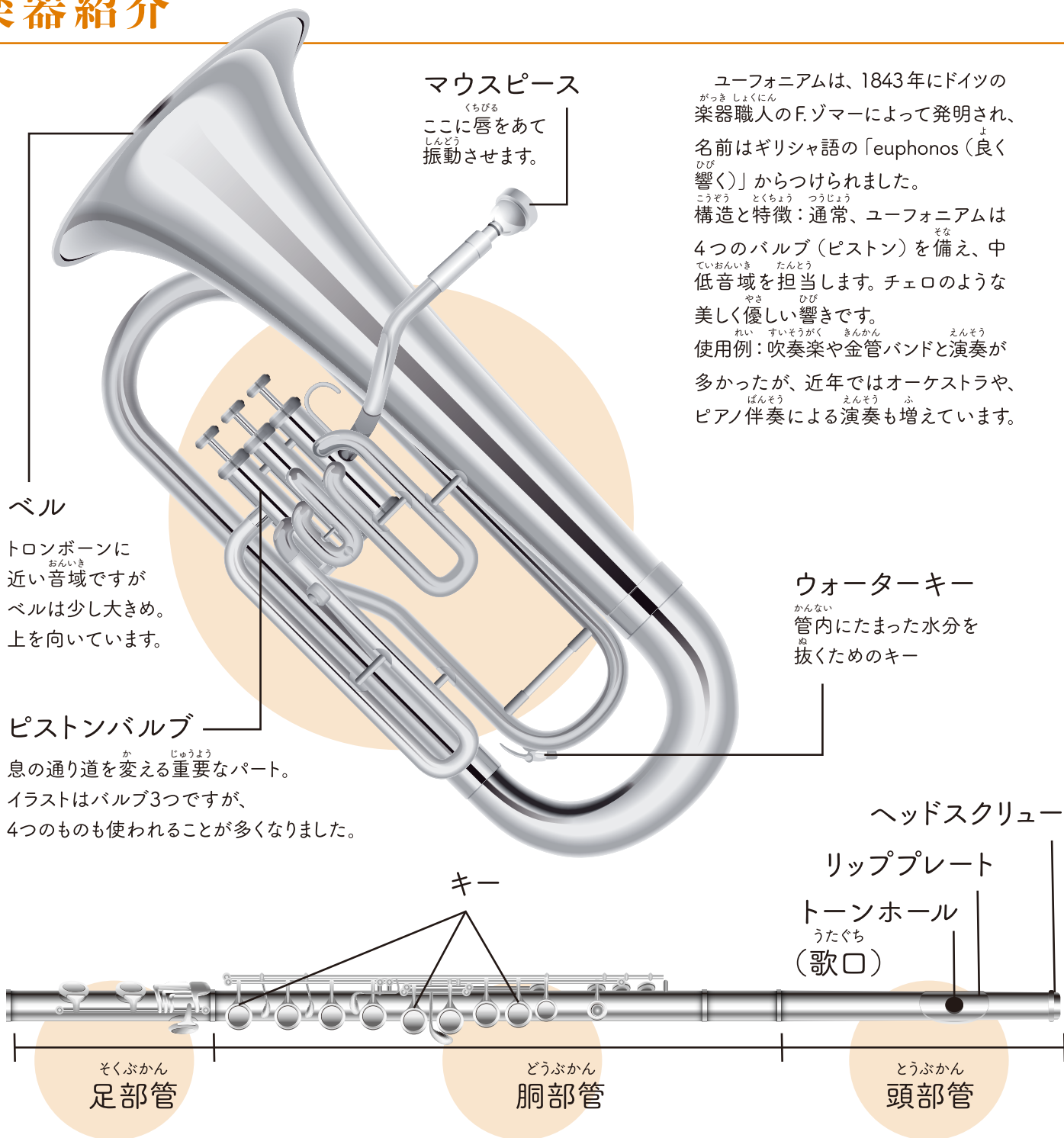


演奏予定曲

「レット・イット・ゴー」 〈作詞・作曲〉クリステン・アンダーソン＝ロペス、ロバート・ロペス
歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」 〈作曲〉ジャコモ・プッチーニ
「情熱大陸」 〈作曲〉葉加瀬太郎

フルート&ユーフォニアム&ピアノ

楽器紹介



マウスピース

ここに唇をあて
しんどう
振動させます。

ベル

トロンボーンに
近い音域ですが
ベルは少し大きめ。
上を向いています。

ピストンバルブ

息の通り道を変える重要なパート。
イラストはバルブ3つですが、
4つのものも使われることが多くなりました。

ウォーターキー

管内にたまった水分を
抜くためのキー

ヘッドスクリュー

リッププレート

トーンホール
(歌口)

キー

そくぶかん
足部管

どうぶかん
胴部管

とうぶかん
頭部管

ユーフォニアムは、1843年にドイツの
楽器職人のF.ゾマーによって発明され、
名前はギリシャ語の「euphonos (良く
響く)」からつけられました。
構造と特徴：通常、ユーフォニアムは
4つのバルブ（ピストン）を備え、中
低音域を担当します。チェロのような
美しく優しい響きです。
使用例：吹奏楽や金管バンドと演奏が
多かったが、近年ではオーケストラや、
ピアノ伴奏による演奏も増えています。



©Ayane Shindo



©Ayane Shindo

かわ ごえ ま ゆみ

川越麻弓〔ユーフォニアム〕

幼稚園のころからピアノを習い始め、小学校4年生のとき、学校の吹奏楽部で
「ユーフォニアム」という楽器に出会いました。ユーフォニアムの柔らかくて温かい音が
大好きになり、そこからずっと楽器を続けています。小学5年生の頃、もっと上手に
なりたいたいと思い音楽大学を目指すようになりました。中学、高校も吹奏楽部に入り、
大学では東京藝術大学に進学し音楽を専門的に学びました。今はユーフォニアムの
演奏活動を行いながら、教える仕事にも取り組んでいます。ユーフォニアムを通して、
音楽の楽しさや表現することの喜びを伝えられたら嬉しいです。

わた なべ ゆ り か

渡辺友梨香〔ピアノ〕

4歳でピアノを習い始め、小中学生の頃はソロのコンクールに熱心に取り組んで
いました。一方で、吹奏楽部への憧れから「私も誰かと一緒に演奏したい」という
気持ちが芽生え、高校は菊里高等学校音楽科へ進学しました。そこで初めて、
ヴァイオリン専攻の友人と共演したときの感動は、今も心に深く残っています。そこ
からアンサンブルの魅力に惹かれ、東京藝術大学進学後は、オーケストラのさま
ざまな楽器の奏者と共演する機会に恵まれました。現在は、昭和音楽大学で学生
と共演する仕事を中心に、CD録音やリサイタルでの共演、自身のソロ・リサイタル
など、幅広く活動しています。

こう が み な

幸賀美奈〔フルート〕

幼稚園の頃、先生が弾いていたピアノを帰ってきて真似をして弾くことが大好きで、
昔から歌うことやピアノを弾くことが大好きでした。フルートには小学4年生の頃に
出会いました。他の楽器もとても興味があつたのですが、フルートの美しい音色に
憧れてフルートを始めました。フルートと出会ってからはどんどん好きになり、今まで
続けてこれています。中学と高校は部活動を頑張つて、コンクールにも沢山挑戦
しました。大学は東京藝術大学に進学し、音楽が大好きな仲間と共に4年間学んで
きました。現在はソロや室内楽、オーケストラで活動しております。フルートは沢山の
音を吹くので、それにつられて私は沢山喋るようになってしまいました。私とたくさん
お話ししましょう！

博士のつぶやき

ユーフォニアムとフルートはピッカピカの金属で作られているのに、なぜだかフルートは
「木管楽器」に分類されます。主だった理由として、金管楽器が「唇の振動」で音を出すの
に対し、フルートは「息を直接吹き込んで空気の振動（エアリード）で音を出す」という奏法を使うからです。また、歴史的に
木製だったことも分類の理由の一つです。

演奏予定曲

「口笛吹きと犬」 〈作曲〉アーサー・ブライヤー

「もみじ」 〈作曲〉岡野貞一 〈作詞〉高野辰之



サクソフーン



楽器紹介

サクソフーン (Saxophone)は1840年代初頭に、ベルギー生まれの楽器製作者アドルフ・サク스가金管楽器の良さも取り入れた木管楽器を目指して発明した楽器で、彼にちなんだ名前がつけられています。ピカピカに光る、円すい管の形も美しく、その音色は艶やかで、管楽器の中では人の声に最も近い楽器とも言われています。

演奏予定曲

「愛の挨拶」 〈作曲〉エドワード・エルガー
喜歌劇『天国と地獄』より「序曲」 〈作曲〉ジャック・オフエンバック
「カプリッチョ」 〈作曲〉渡部哲哉

スリー

3サクソフーンズ

やま もと なお と

山本直人 [サクソフーン]

管楽に出会ったのは中学校の吹奏楽部でした。はじめはバスクラリネットという楽器を演奏していました。その後高校生になった時にサクソフーンに変わり、音楽大学で大学院まで勉強しました。サクソフーンには色々な種類があり、高い音が出る楽器から、ソプリロ、ソプラニーノ、ソプラノ、アルト、テナー、バリトン、バス、コントラバスとたくさんの種類があります。よく使われているのは、アルト、テナー、バリトンですが、どのサクソフーンも演奏出来ます。サクソフーンの他にもクラリネットやフルートの演奏もします。たくさんの楽器を練習するのは大変ですが、うまく演奏できるようになった時の喜びは大きく、日々練習を続けています。



むかい やま しゅう さく

向山周作 [サクソフーン]

私がサクソフーンと出会ったのは中学校の吹奏楽部への入部がきっかけでした。体験入部の期間はトロンボーンを吹かせてもらっていましたが、先生から下唇が分厚いという理由でテナーサックスにパート変更になりました。いざサクソフーンを吹いてみると指もわかりやすく、音も出しやすいということもあり、次第に楽器を吹くのに夢中になっていきました。中学3年生のときのソロコンテストに出場した事をきっかけに、もっとサクソフーンを勉強してみたいという気持ちになりました。その後も勉強を続け国立音楽大学に入学し、オーケストラとの共演や新人演奏会への推薦などをしていただきました。現在は東京を拠点にソロ、室内楽、吹奏楽などの演奏活動をしています。



お だ し ま こう た

小田島航太 [サクソフーン]

小学生の頃はリコーダー少年、いろいろな曲を演奏して遊んでいました。サクソフーンを始めたのは中学生の吹奏楽部がきっかけです。パーツが多くキラキラしているその楽器がカッコいいなと始めました。リコーダーと指遣いが一緒なのですぐにパラパラ吹けました。その後もサクソフーンを続け国立音楽大学に進学し、卒業した後はイギリスでも勉強しました。今はクラシックのサクソフーンを教えながら、演奏活動もしています。



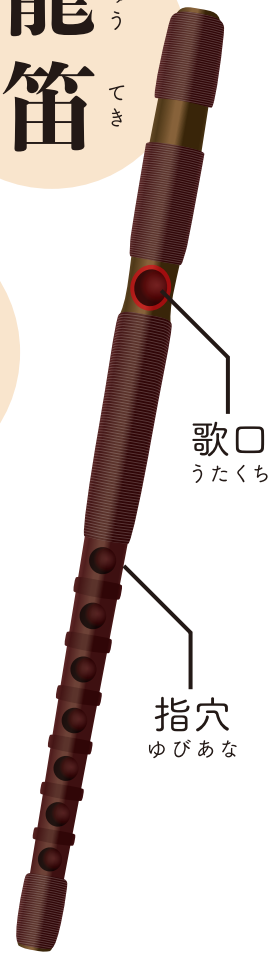
博士のつぶやき

サクソにはいろいろな種類があるんだね。華やかで喜びを謳歌する曲、体の奥にズーンと響く音、行進曲にぴったり、みたいな曲。山本直人先生はミュージック・シェアリングの特別支援学校でも指導されていて、サクソ、トランペット、フルート、と一人何役?で、先生の悩みは、クラスに合わせて満員電車で学校に向われる時のご苦労。わかるかな?複数の楽器を持ち運ぶその重さはなかなかなもの。座席に座れないこともあり、立ったままの移動。体力づくりも大変に違いない。でも演奏は、天に届く音、そのもの。さっすがー。

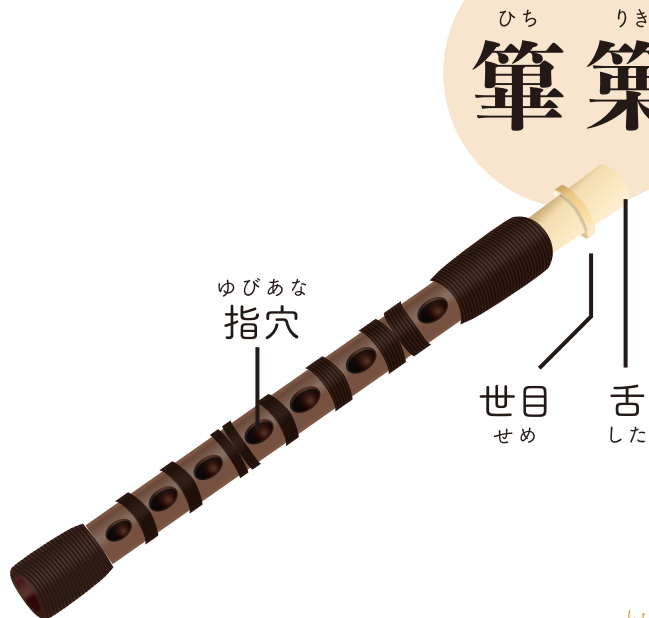


雅 楽

龍 笛



箏 篳



楽器紹介

毎年お正月や、結婚式などのおめでたい時になると耳にするあの、ぶお〜〜〜ん…という独特な音楽。ゆったりとしていながら、しゃきっとさせてくれるようなあの曲は『雅楽』といわれるジャンルの音楽です。雅楽は1300年くらい昔から現在に至るまで、日本で伝承されています。儀式のなかで、また天皇や貴族の楽しみとして、演奏されてきました。雅楽には、大陸から伝えられた音楽や舞と、日本で創られた音楽や舞の両方が含まれています。それらが長い年月を経てまとめられ、日本独自のものとなりました。

雅楽は、3種類の管楽器と2種類の絃楽器、そして3種類の打楽器で演奏します。このスタイルを「三管両絃三鼓」と呼び、様々な自然の素材を組み合わせた楽器は、それぞれ独特な音色がします。今回はその内の三管を表す3つの管楽器を演奏します。

豆知識～天上の音楽「雅楽」

みなさんが知っている十円硬貨。その表面に描かれている、京都にある平等院鳳凰堂は、約960年前に建てられた国宝です。そのお堂の天井近くの壁には、たくさんの菩薩様が雅楽の楽器を持って飛んでいる様子を表した「雲中供養菩薩像」があります。「阿弥陀經」というお経では、極楽(天国)のことを「美しい天の音楽が流れる場所」と表していました。昔の人は、雅楽の音を聴きながら極楽を想像していたのかもしれません。

演奏予定曲

唐楽「越殿楽(えてんらく)」、「春鶯囀遊声(しゅんのうでんゆうせい)」

野護元「龍笛」



10歳の時にCDで雅楽を聴き、とても面白い音楽だな、自分も楽器を吹いてみたいと思い11歳から龍笛を手にして習い始めました。すっかり雅楽が大好きになってしまい、東京藝術大学に進学し雅楽を専門的に勉強しました。大学では龍笛のほかに、舞、歌、琵琶の演奏なども勉強しました。卒業後は龍笛をはじめ、舞、琵琶でも舞台に立つようになりました。練習することが多くとても大変ですが、様々な楽器や舞に触れる中で雅楽の演奏の面白さをより深く感じる事ができています。今は伶楽舎に所属して国内のみならず海外でも演奏をしています。海外の方にも日本の文化を紹介できることがとても嬉しいです。

八槻純子「笙」



子どもの頃から音楽が大好きでお家にあった楽器を見つけ、その楽器の形がとてもきれいだったので演奏してみたいと思い楽器を習いはじめました。練習しているうちに演奏することがどんどん好きになり、とても楽しかったのもっと楽器の練習をたくさんしたいと思い大学で勉強をしました。卒業してからは、雅楽を演奏する「東京楽所(とうきょうがくそ)」の一員として色々な国や日本各地で沢山の演奏をしています。雅楽は日本の音楽のなかで一番古い音楽で長い歴史があるので、沢山のの人に聴いてもらいたいです。

國本淑恵「箏篳」



私は幼稚園の時から高校までピアノを習ってましたが、留学をしたことがきっかけで日本の文化に興味を持ち、中でも箏篳の音色が素敵で習い始めました。最初は趣味として続けていこうと思っていたのですが、もっと上手になりたい!まだまだ知らない雅楽の魅力を勉強したい!と思い、東京藝術大学に入学しました。大学では箏篳以外にも、箏や舞、歌などを勉強しました。卒業後、しばらくして伶楽舎に所属し、学校や日本各地で演奏をしたり、アメリカやアジア等の海外でも演奏をしています。また、雅楽教室やカルチャーセンターなどで箏篳を教えており、たくさんの人に箏篳の魅力、雅楽の素晴らしさを伝えています。

博士のつぶやき

3つの楽器の名前の由来をご紹介します。

龍笛(りゅうてき)

龍は中国・日本の伝説上の神獣で、天上を舞う力強さや神秘性を象徴します。龍笛の澄んだ高く伸びる音や、雅楽における神聖な雰囲気は龍の鳴き声のようだと表現されたことから名付けられたとされます。

笙(しょう)

「笙」は竹で作られた管楽器であることを示す竹冠(竹)と、発音や形を表す声(しょう)が組み合わさった字です。つまり、竹で作られた声を出す楽器という意味が込められています。もともとは古代中国の宮廷音楽で、日本に伝わった際に、字は「笙」と書き、雅楽の重要な和音楽器として定着しました。

箏篳(ひちりき)

「箏篳」は中国語で“執笛”(zhíli)に由来するとされ、「箏(ひち)」=竹の小片や管楽器の素材と、「篳(りき)」=リード楽器を合わせて、竹製のリード楽器という意味が込められています。箏篳は雅楽のオーボエ型(単リード管楽器)で、中国から日本に伝わってからは雅楽の重要な旋律楽器として使われるようになりました。

